



安心できる集団とは、どんな集団？

先日の道徳で、「安心できる集団」とはどんな集団かを皆で考えました。

今、皆はそれぞれが、「嘉楽中」「1年」「クラス」「部活動」・・・等、さまざまな集団に属しています。『仲間』と『集団』は少し違います。仲は良くないけど「集団（学年・クラス・・・）」でいますよね。気が合わないときもあるけどそれでも一緒にいる・・・それが「集団」ではないでしょうか。

では、その集団で『安心できる』ようになるにはどうしたらよいのか？？？誰もが居心地よく「集団」の中にいたいはず・・・。

タレントである「さかなクン」が書いた文章をヒントに皆が書いてくれていた文章をいくつか下記に紹介します。（学校ホームページでもたくさん載せています。読んでみてください。）

- 小さな空間で同じ考え方ばかりで過ごすのではなく新しい考え方をもって過ごすことも大切なんだと分かりました。でも小さな空間だからこそ考えられることもあると思うので広い視野を持つことが一番大事だと思います。
- 心が狭いと少しのこじれで怒るし、いじめるし・・・となると思います。なので、もっと寛容な心を持った人や、広い心の人が増えるといいと思います。
- 今日の学習でいじめる人がどんどん増えていくのは狭いところで狭い世界だからでもっと外に出て知ることができるから、自分の事だけを考えるのではなく、他の人の事も考えられるようになるのがいいことだと思います。

・・・・「安心できる集団」になるには、まず自分が属する集団がどのような集団かを、自分自身で外から見ることが出来るようになることが大切ではないでしょうか。具体的に言うと、「今の自分のクラスはどんな状態か、他のクラスから見るとどんなふうに思われているか・・・」「自分がいつも一緒に行動するグループは、他の人たちからどのように思われているか・・・」。それを知った上で、「小さな世界にこだわる集団になっていないか」「自分の集団のことばかりに囚われていないか」「集団の中のひとりひとりをよく見て気遣えているか」を考えること。考えることで、今の自分でよいのか、集団に流されていないか、自分はどう行動するべきか、自分自身の在り様も見えてきます。ちょっと立ち止まって自分のいる集団、そして自分について振り返りましょう。

12月4日（金）京都市内めぐりでかけます！

京都を、班ごとに市バスと地下鉄を使ってめぐります。皆のマナーと社会常識、そして集団行動ができるかが試されます。今後のすべての学年の活動にも影響します。上に書いたように、自分の集団を外から見て、他人に迷惑をかけていないかを確認し互いに注意しあいながら行動してください！

【三者懇談】が12月16日（水）～21日（月）にあります。

保護者の皆様へ

上記の日程で三者懇談を実施させていただきます。保護者の方々には御足労をお願いいたします。3学期は懇談がありませんので今年度最後の三者懇談となります。学校生活や進路のことなど、日頃感じられていることをなんでもお話ししていただければと思います。

文責：学年主任 天谷 千恵